

「ひとりで学ぶよりふたりで学ぶほうが楽しくてためになる」

- ・これるときに
- ・これるひとが
- ・これるひとと

強度行動障がいについて学びます。

『自らが考え』『自らが実践する』ことを目標に、互いのもつ疑問や考え、情報などを交流しあいます。この勉強会に参加することにより、あなたの日常生活における人間関係づくりの考え方が変わります！

KYOUKOU（強度行動障がい勉強会）第18回

- 1 日時 平成30年8月31日（金） 19時～20時半ごろ（90分）+ 食事会による情報交換
- 2 場所 社会福祉法人まつら会「からつ学園」（847-0111 佐賀県唐津市佐志2107-2）
<http://karatsu-gakuen.org/karatsugakuen/>
- 3 内容 「からつ学園見学及び強度行動障がい者支援に関わる情報交流」
 - ① 19:00～19:40 からつ学園施設見学・学園概要説明
 - ・からつ学園概要説明
 - ・からつ学園園内見学
 - ② 19:40～20:30ごろ 質疑応答・支援事例紹介：進行 からつ学園 松藤さん
 - ・質疑応答
 - ・からつ学園短期入所利用者さんの支援事例紹介と意見交流（別紙資料）
 - ③ 20:45ごろ～ 食事会による情報交換
 - ・場所 笑笑唐津駅店（唐津市新興町2936-1）からつ学園から車で15分
 - ・費用 2000円程度

【支援前】 利用者A氏短期入所時の状況支援前

16:30	生活介護から移動し、短期入所利用開始 荷物を所定の場所に自分で置く。置く場所は決まっている。ホールでテレビを観て過ごす。テレビを自分が見たい番組にする。この時、他利用者とトラブルになる事が多い。
18:00	夕食の声かけ。他利用者が食事を終了し、本人の食事をセットしてから入室。 食事後、トレイに入っている食器を返却場所に置き、自分の食器が片付けられるまで見ないと納得できず、その場を動かないというこだわりがある。また、返却場所近くに有るゴミ箱や名札が気になり何度もゴミ箱内を確認する、名札を並べると言う行動があり、食器が片付けられた後も切り替えが難しくなる。
18:15	食事終了、歯磨き、ホールでテレビを観て過ごす。
19:30	コーヒー・ジュース提供の時間。 職員2名で協力して提供するものの、特定の利用者のコーヒーやジュースを奪い取る形で飲む行動がある。職員の制止も間に合わない場合が多い。他利用者とのトラブル要因となる。
21:00	眠前薬の服用。お茶を何度も飲む行動がある。 以前は本人がお茶を飲んだ後、キーパー内のお茶を捨ててしまう行動があった。服薬後、パジャマを渡す。以前は自分でパジャマに着替えていたが、最近は着替えない。着替えるように声掛けを行うものの、支援室前の廊下に座り込み声掛けに応じる事はない。消灯。廊下に座り込み居室に行かない。支援室前と浴室前に座り込むことが多い。支援室前に置いてある、椅子や干してあるタオル・手押し荷台が気になり、何度も位置を変えて干し直す行動が続く。座ったまま寝るものの、少し物音がすると覚醒する為、眠りは非常に浅い。位置的に、エアコンの風が当たり良く冷えやすい場所であった為、涼しい場所を選んでしていると判断して廊下のエアコンを消すものの、居室に移動して寝る事はなかった。
0:00	入眠が無い場合は頓服薬を服用する。 服用後は眠気が強くなるものの、廊下でそのまま寝てしまう。しかし、眠りは浅く少しの物音で覚醒する。覚醒する際は驚いたように大声をあげる事が多くある。→支援室内の何かが気になる？→人の気配がないと不安？→気になるものがあるなら、支援室内に入ろうとすると思われるが、そのような行動は無い。夜間、2時や3時に自分で居室へ行って就寝する場合がある。
5:00	起床し、シーツを纏めて支援室前に来る。 自分で洗濯物を入れる籠に入れる。籠に入れた後も気になり、何度もシーツを畳み直す行動がある。籠の中に他の洗濯物が入っていると、それも全て畳もうとする。
6:00	検温する。 赤外線検温するタイプを使用するものの、腋下で測るタイプで検温しなければ納得できない。支援室内に入り込み、体温計が入っている箱を探し出して自分で体温計を取り、自分で何度も検温する行動がある。支援室内に入る行動を制止すると、大声を出して力づくで入ろうとする。その様子を見た他利用者が止めようとするため双方に怪我の危険がある。朝食までホールで過ごす。ホールが閉まったままの場合は支援室前に居る。
8:00	朝食開始、夕食と同じく他利用者が食事終了後に呼ぶ。
8:15	食事終了。
8:30	朝のコーヒー提供（入所者のみ） 他利用者のコーヒーを飲む行動がある。他利用者とトラブルとなる。
8:40	生活介護の迎えで短期入所利用終了。 ホールが閉まっていた場合はホール内に入りたがって帰る事が出来ない。写真を提示し、生活介護に行くように促しても移動しない。ホール内のカーテンを自分で開け、テレビの電源を一度入れて確認しないと納得できない。

【支援後】

利用者A氏 短期入所時の状況 支援後

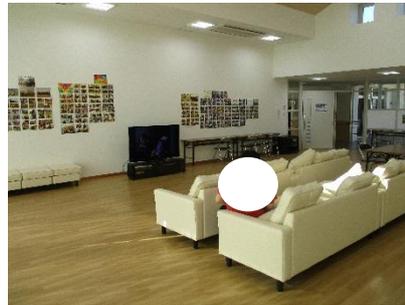
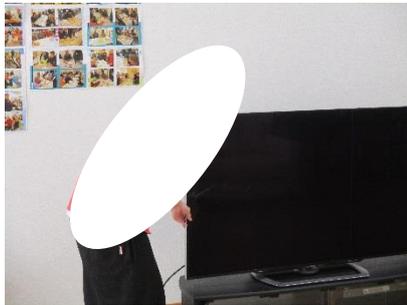
16:30 生活介護から移動し、短期入所利用開始

荷物を所定の場所に自分で置く。置く場所は決まっている。

支援室前の椅子とタオル干しは本人が来る前に撤去しておく。



ホールでテレビを観て過ごす。テレビを自分が見たい番組にする。
この時、他利用者とトラブルになる事が多い。



18:00 夕食の声かけ、他利用者が食事を終了してから入室する。本人食事をセット

返却場所で自分の食器が片付けられるまで見ていると、手元にある他の物
や近くに有るゴミ箱が気になり始める。

そのため、離れた場所に椅子を用意し、食器が片付けられるまで座って見る
事ができるように環境整備している。



自分で食器を持って来て、声掛けで椅子に移動して座って見ている。
ゴミ箱は気になる為に食器が片付いた後、数回中を確認する。



- 18:15 食事終了、歯磨き、ホールでテレビを観て過ごす。
本人居室のエアコンを22度設定で入れる。他利用者の居室は26℃設定。
居室が冷えにくい為に低温設定。また、居室が暑いと本人が居室で過ごさず支援室前に来ると推測される為。体感で明らかに涼しいと感じる温度が22℃であった。居室の環境を整え、快適な環境を提供する事で廊下やホールで過ごすより居室で過ごす方が快適であると本人に理解して貰うため。
本人がホールや廊下で寝ていると、気になる他利用者が本人に干渉しトラブルとなる事が多い為、現状では居室で過ごす方が良いと判断。
- 19:30 コーヒー・ジュース提供の時間
本人の短期入所利用時、他利用者の居室に職員が直接コーヒー・ジュースを持って行く。いつもは利用者が支援室まで来てコーヒーやジュースを受け取りに来ている。他利用者の理解を得て、協力して頂いている。
本人には最後にコーヒーの提供を行う。自分のコーヒーを飲み終わるまでは声かけで待つ事が可能である為。
本人には遠監視と声かけ・指さしでホールにて待つように働きかけ、待つ事ができている。他利用者の飲み物を飲む事が減った為、トラブルも減った。
- 19:45 コーヒー、ジュース提供が終わり、本人もコーヒーを飲み終わると居室に誘導する。誘導時、居室の写真を見せて声かけを行うと居室に移動する。
本人誘導後、ホールは消灯し閉鎖する。



その後、居室でテレビを観て過ごす。眠前薬を飲む時間が気になるのか、20時を過ぎる頃から何度も支援室前に来る行動がある。声かけで居室に戻る事ができる。

- 21:00 眠前薬の服用。他利用者服用後、最後に本人が薬を服用する。
最後に服用する事で、最後にコップを職員に渡し、職員はキーパーとコップを手押し荷台に乗せ、そのままの流れで片付ける。本人は特に反応を示さない。手押し荷台は支援室内に置く。
本人にパジャマを渡す。

本人が着替えない場合、パジャマの写真を見せる事で着替え始める。



パジャマに着替えた後、居室に誘導する（写真提示）

- 21:30 居室に移動するものの、何度も支援室に来る行動がある。
- 21:50 職員が居室に同行し、本人が寝るまで居室で一緒に過ごす。
本人が支援室前に来るのは、寂しいから来ると推測しての支援。以前、自宅の状況を母親に聞いた際、いつもは22時には寝るものの、夜の勤務時は帰って来る午前1時頃まで起きて待っていると聞いた為。
声掛けを行うと10分程で入眠する。眠りが非常に浅い為、居室を出る時に物音がすると起きて部屋から出て職員を追いかけてくる。再度居室に同行すると、自分で居室に移動し寝ようとする行動が見られる。
- 22:30 就寝確認する。
- 1:00 居室の温度を25℃に上げる。（22℃は就寝中としては低い為）
数回浴室前で座ったまま寝ている事がある。声かけで居室に戻り就寝する。
- 5:00 起床し、シーツを纏めて支援室前に来る。
籠の中は事前に空の状態にし、手押し荷台に籠を乗せてシーツを片付けるように声かけする。自分でシーツを畳み、籠に入れる事が出来る。
籠に入れた後も気になり、何度もシーツを畳み直す行動がある。
- 6:00 検温する。赤外線検温するタイプを使用する。
腋下で測るタイプの体温計が入っている箱を本人にわからない場所で保管。
何度か支援室内に入って箱を探す行動があるものの、声掛けですぐに出る。
現在では支援室内に入って探す行動自体が無い。
朝食までホールで過ごす。ホールは開放し、本人のこだわりであるカーテンを自分で開ける事、テレビの電源を入れる行動を先に終わらせることでスムーズに生活介護に移動できるようにしておく。
- 8:00 朝食開始、夕食と同じく他利用者が食事終了後に呼ぶ。
- 8:15 食事終了。
- 8:40 生活介護の迎えで短期入所利用終了。
他利用者に朝のコーヒー提供。（A氏が居る時はA氏が帰った後に提供するよう他利用者の理解を得て、協力して頂いている）

課題

- ・ホールで過ごす際、テレビチャンネル・番組に対するこだわりから、他利用者トラブルとなる。
→居室で過ごすように本人に働きかけることで、トラブルの減少を試みる。
→19:45前後まではホールで過ごして居るため、居室で過ごすように働きかける。

KYOUKOU（強度行動障がい勉強会）これまでの内容一覧（H28.5.30～H30.6.27）

【第1回】

- 1 日時 5月30日(月) 18:00～20:00（学習 60分+情報交換 60分）
- 2 場所 合同会社サクスシェア事務所 福岡市東区馬出2丁目35-9-101
- 3 内容 「強度行動障がい児者支援について思うこと」についての意見交流（60分）
 - ① 自己紹介（5分…ひとり30秒）
 - ② 「強度行動障がい児者支援について思うこと」について話す（30分…ひとり5分以内）
疑問・悩み・意見・実践していること・今後やりたいこと などなどについて思うことを語ってください
 - ③ ゲストのお話「強度行動障がいについて思うこと」（25分…お話し15分 + 質疑応答10分）
中本由美子さん 有限会社大智會（小郡市） 障がい者福祉部門統括 <http://daichikai.net/>

【第2回】

- 1 日時 6月29日(水) 18:30～20:30（学習 60分+情報交換 60分）
- 2 場所 合同会社サクスシェア事務所 福岡市東区馬出2丁目35-9-101
- 3 内容 「強度行動障がい者の余暇時間支援について」ディスカッション（60分）
 - ① 自己紹介（5分…ひとり30秒）「最近思うこと」
※30秒で話す練習をしてみてください。自分の言いたいことをまとめて、与えられた時間で相手に伝える技術は、障がい者支援でも応用される重要なスキルの一つだと考えます。
 - ② 「強度行動障がい者の余暇時間支援」についてブレインストーミング（20分）
強度行動障がい者の日常生活の中で、いわゆる生命維持活動以外の時間の過ごし方について、ポストイットを使ってアイデア出しをします。
【ルール】①批判厳禁 ②自由奔放 ③量より質 ④便乗あり
 - ③ 「強度行動障がい者の余暇時間支援」についてKJ法での分類・整理（30分）
出されたアイデアの分類整理を試みる。時間の余裕があれば、できあがった分類のそれぞれについて、支援の留意点等を意見交換する。
 - ④ まとめ（5分）

【第3回】

- 1 日時 7月28日(木) 18:30～20:30（学習 60分+情報交換 60分）
- 2 場所 合同会社サクスシェア事務所 福岡市東区馬出2丁目35-9-101
- 3 内容 「強度行動障がい者の事例検討」ワークセッション（60分）
 - ① 自己紹介（5分…ひとり30秒）「最近思うこと」
※30秒で、自分の言いたいことをまとめて、お話してください。
 - ② 強度行動障がい者の事例検討（55分） 進行：田中
※ 今回は、インシデント・プロセスという事例検討の方法を用いて課題解決に迫ります。

- 1 事例提供 (犬丸さん)
 - 2 情報収集
 - 3 課題解決ワーク
 - 4 情報共有
 - 5 振り返り
 - 6 スーパーバイズ (森口所長)
- ③ 聴覚過敏者を支援する「カームダウンパネル」の紹介 (15分)
AURAL SONIC 株式会社 古澤 秀和 代表
実物を持参いただき、ご説明くださいます！
- ④ 情報交換会 (45分)

【第4回】

- 1 日時 8月31日(水) 19:00~21:00 (学習 60分+情報交換 60分)
- 2 場所 あすみん (福岡市 NPO・ボランティア交流センター)
福岡市中央区今泉 1-19-22 天神クラス 4階
- 3 内容 「行動障がいの考え方」ワークセッション (60分)
 - ① 自己紹介 (ひとり 30秒くらい) 「最近思うこと」
※30秒で話す練習をしてみてください。自分の言いたいことをまとめて、与えられた時間で相手に伝える技術は、障がい者支援でも応用される重要なスキルの一つだと考えます。
 - ② 「行動障がいの考え方」についてインストラクション (10分)
「冰山モデル」を中心とした行動の見方などについてのレクチャー (春田さん)
 - ③ 「冰山モデル」についてグループワークを通して理解を深める (40分)
2本の事例について、グループで検討・意見交流・全体シェアリングを行います。(春田さん)
 - ④ まとめ (5分)

【第5回】

- 1 日時 10月4日(火) 19:00~21:00 (学習 60分+情報交換 60分)
- 2 場所 福岡市立心身障害福祉センター (<http://www.fc-jigyoudan.org/aiai/s-a-0.html>)
- 3 内容 「行動障がいの考え方 (その2)」ワークセッション (60分)
 - ① 自己紹介「最近思うこと」
 - ② 「行動障がいの考え方」について、前回の勉強会を軽くおさらい (10分)
資料を準備しています！
 - ③ 「冰山モデル」についてグループワークを通して理解を深める (40分)
前回同様、事例をもとに、グループで検討・意見交流・全体シェアリングを行います。
進行状況によって、モデルの検討を踏まえた「支援の視点」についても学ぶ予定です。
 - ④ まとめ (5分)

【第6回】

- 1 日時 11月4日(金) 19:00~21:00 (学習 60分+情報交換 60分)
- 2 場所 あすみん(福岡市NPO・ボランティア交流センター)
- 3 内容 「行動障がい者の考え方(その3 支援立案編)」ワークショップ(60分)

- ① 自己紹介
- ② 演習

対象者が表す行動について、支援者がその行動の背景にある理由が分からないため、自分なりの解釈をし、その結果として誤った対応を行ってしまうことがあります。この時間は、行動の背景について考え、行動が起きている理由を整理し、支援のとっかかりを探していきます。

【第7回】

日時 H28.12.9

場所 Modern Dining Okuza (050-5861-3806) 福岡市中央区今泉1-16-1(2F)

- 1 アンケートの集約結果から今後の勉強会の方向性について(協議)
- 2 強度行動障がいや障がい者支援、福祉について考えること(意見交流)

【第8回】

日時 1月10日(火) 場所:あすみん

内容 か〜む利用者事例検討会

【第9回】

- 1 日程 2月23日(木曜日)
- 2 時間 19時(ただし、少し早まる可能性があります)
- 3 内容 か〜む(強度行動障がい者が入居するグループホーム)見学

【第10回】

- 1 日時 4月27日(木) 19:00~21:30 (学習 90分+情報交換 60分)
- 2 場所 福岡市立心身障がい福祉センター(あいあいセンター)7階小研修室
- 3 内容 「強度行動障がい者の事例検討(具体的な支援の方針編)」ワークショップ(60分)

- ① 自己紹介
- ② 演習

1月に事例理解した対象者について、どのような支援が望ましいのか、その方向性について、これまでの学びを参考にしながらグループで探っていきます。

そして、最後には、か〜むから、実際に行っている支援や現在のご本人の様子について紹介していただき、今後の支援への参考にさせていただきます。

- ③ スーパーバイズ

【第11回】

- 1 日時 平成29年5月31日(水) 19時~20時半(90分) + 食事会による情報交換
- 2 場所 福岡市立心身障がい福祉センター(福岡市中央区長浜1丁目2-8)
- 3 内容 座学「強度行動障がい者の行動の意味を考える」

① 自己紹介

② 座学：スピーカー 障がい者行動支援センターか〜む 所長 森口 哲也さん

強度行動障がい者には、社会的に不適切な行動がたくさんあります。そのため、家族や支援者としては、不適切な行動をなくしたり修正したりするために常にさまざまな働きかけをします。しかし、彼らが示す行動には、それぞれに必ず彼らなりの理屈に見合った『行動の意味』があるのです。これを抜きにしては、彼らの適切な支援はあり得ません。

満を持して登場いただく森口さんからは、参加者のグループワークも織り交ぜながら、「行動分析」の考え方や手法を解説していただき、『行動の意味』の探り方やその後の支援の在り方のヒントを提供していただきます(^^)／

【第12回】

日時：平成29年7月3日(月) 19:00~20:30

場所：あすみん(福岡市 NPO・ボランティア交流センター) 福岡市中央区今泉 1-19-22

テーマ：「親として強度行動障害児者支援について思うこと」スピーカー KYOUKOU メンバー 平田さん

【第13回】

- 1 日時 平成29年8月1日(火) 19時~20時半(90分) + 食事会による情報交換
- 2 場所 福岡市 NPO ボランティア交流センターあすみん <http://www.fnvc.jp/>
- 3 内容 事例検討「食事時の支援について考える」唐津学園 吉田さん

① 自己紹介

② 事例検討

【第14回】

- 1 日時 平成29年12月15日(金) 19時~20時ごろ(60分) + 食事会による情報交換
- 2 場所 福岡市立心身障がい福祉センター(福岡市中央区長浜1丁目2-8)
- 3 内容 「放課後等デイサービスセミナーの報告」「今後の KYOUKOU の方向性について」

① 報告：合同会社サンクスシェア 田中 聡

11月に行った「放課後等デイサービスにおける指導の難しい子への対応」のセミナーについて、簡単に報告をさせていただきます。強度行動障がい児の指導において重要視しなければならないポイント等についてみなさんで協議できれば幸いです。

【第15回】

- 1 日 時 平成30年2月28日(水) 19:00~20:00 & 第二部 ~21:00 (ジョイフル松原店)
- 2 場 所 障がい者地域生活・行動支援センターか〜む (福岡市城南区東油山四丁目14-21)
- 3 参加者 16名
- 4 内 容
 - ① 移転して新しくなったか〜むの施設見学
 - ② 質疑応答

【第16回】

- 1 日 時 平成30年4月16日(月) 19:00~20:30 & 第二部 ~22:00 (長浜「振り子」さん)
- 2 場 所 福岡市立心身障がい福祉センター (福岡市中央区長浜1丁目2-8)
- 3 参加者 15名
- 4 内 容 「支援と虐待の線引きをどう考える？」をテーマにした意見交流会
 - ① グループ討議
 - ② スーパーバイズ 障がい者基幹相談支援課 障がい者虐待防止センター 所長 松野 浩二さん

【第17回】

- 1 日 時 平成30年6月27日(月) 19:00~20:30 & 第二部 ~22:00 (百道浜益正さん)
- 2 場 所 福岡県立ももち文化センター (ももちパレス) 福岡市早良区百道二丁目3番15号
- 3 参加者 8名
- 4 内 容 「つながること 生きること」 お話：有限会社 大智會 中本 由美子さん